

南極観測50周年記念「祝賀会・祝典」のご案内

第1次南極観測隊が、国民の期待を一身に背負って南極観測船「宗谷」で南極を目指したのは昭和31年11月8日でした。この日を基に今年は、日本南極観測50周年を迎えます。

南極OB会では、この日を祝いかつこれまでの観測成果と今後の観測の展望を広く国民に知っていただくため、一昨年「南極観測50周年記念事業委員会」を立ち上げ、各種準備を進めてまいりました。

この日は、10:00より『“宗谷”出港祝典』に始まり、13:30 は講演会『南極観測を支えた船物語』、続いて16:00より『“しらせ”見学会』、18:00よりこの日のメインの『南極観測50周年祝賀会および第48次観測隊壮行会』を行います。

これらの行事は記念日として一連の行事として行いますが、それぞれ独立して行います。

出欠は祝賀会等についてそれぞれ取りますので注意事項等をご理解のうえ、添付出欠「はがき」にご記入・ご投函ください。なお、講演会は出欠を取りません。

祝賀会参加費：1万5千円(同伴者5千円:前納振り込み)とします。ご協力のほどよろしくお願いたします。

『“宗谷” 出港祝典』

本年はわが国が南極観測を開始して50周年を迎える記念すべき年です。その始まりとなるのが、50年前の昭和31年11月8日午前11時、小雨けぶる東京港晴海ふ頭を南極観測船“宗谷”が出航したときです。

あれから50年、“宗谷”は引退し、船の科学館で保存・公開されています。

この度は、この記念すべきこの日に、船の科学館に係留されている「宗谷」を舞台に50年前の「出港式」を一般公開の形で再現するとともに50周年の祝典を行います。

受付場所：船の科学館1階オーロラホール前 Tel:03-5500-1111 (代表)

受付時間：平成18年11月8日(水)10時00分より

祝典：10時30分～11時20分(プログラム参照)

昼食時間：12時15分～13時15分

(記念講演：13時30分～15時20分)

なお、昼食は自由にとりいただいても結構ですが、この日“宗谷”に参集した記念に希望者による簡単なお祝いの昼食会を12時15分から行います。ただし昼食費は式典参加費に含まれませんので別途4千円を徴収いたします。食事会場の準備もありますので、昼食参加確認を別添出欠はがきでご連絡願います。

会場への交通：JR新橋から「ゆりかもめ」線で「船の科学館」下車

『“しらせ” 見学会』

11月8日(水)は、“しらせ”が最後の南極航海に赴くべく第48次隊の荷積みの真っ最中です。荷積み作業に支障をきたさないようにするため、十分な時間は取れませんが簡単な見学会を行います。

ただし、“しらせ”は外国往来船舶ですので、見学に参加するためには乗船名簿の提出が必要ですので、希望者は事前に氏名の登録が必要です。直接「しらせ」を訪問することができません。見学希望者は、“宗谷”での講演会が終わり次第、船の科学館からバスで行動しますので、下記の要領でお集まりください。

なお、宗谷の祝典にお集まりの方はバスで移動するため、「しらせ」見学のため下車するしないに係わらず名簿登録願います。

集合時間：平成18年11月8日（水）15時10分に集合

集合場所：船の科学館1階オーロラルーム前

出発時間：15時20分～15時30分船の科学館を出発

見学時間：16時00分～16時45分（飛行甲板、ブリッジ程度）

交通は宗谷からのバスでのみ。“しらせ”見学に関する別途費用はありません。

『南極観測50周年祝賀会および第48次観測隊壮行会』

南極OBによる「南極観測50周年記念祝賀会」および「第48次観測隊壮行会」を行います。この日のメイン祝賀会です。

50年という歴史には重いものがあり、今年南極に起つ第48次隊隊員はほとんどの方が50年前は生まれていませんでした。私たち南極関係者は、この50年を一年一年、糸を紡ぐようにつないできました。この間、私たちは科学的な成果をはじめ設営の成果を数々上げてそれを世界に伝え、国民に還元してきました。

50年の歴史を作ったわれわれ南極OBが一同に会し、祝賀すると共に新たな仲間となる第48次隊を壮行しようではありませんか。皆さんの参加をお待ちします。

受付場所：赤坂プリンスホテル 五色の間 Tel:03-3234-1111(代表)

受付時間：平成18年11月8日（水）15時00分より（控え室で懇談できます）

祝賀会：18時00分

壮行会：～20時30分（プログラム参照）

会場への交通：地下鉄銀座線・丸ノ内線「赤坂見附」駅下車（赤坂地下歩道D紀尾井町方面口）。南北線「永田町」駅下車（9-a口）。半蔵門線「永田町」駅下車（7番口）。有楽町線「永田町」駅下車（9-b口）。